

# グラクソ・スミスクライン株式会社



GSK は、グローバルに展開している 3 つの事業分野において、科学・技術の知見と、優秀な人財を通して、競争力があり高品質かつ必要とされるヘルスケア製品をより多くの人々に届けることを目指しています。GSK は、サイエンス、テクノロジー、人財を結集し、力を合わせて病に先手を打つ、という高い志と存在意義を持った、バイオ医薬品のグローバルリーダーです。



work with Pride



## 「Spectrum JAPAN (スペクトラム・ジャパン)」

GSKグループ内の有志で構成されたLGBTQ+アライ\*1グループ「Spectrum JAPAN (スペクトラム・ジャパン)」による、グローバルや他社と連携した継続的な社内外の啓発活動（「SOGIハラ\*2」勉強会の開催やLGBTQ+当事者を招いた講演会、社内外SNSを通じた情報提供、オリジナルグッズ配布によるアライの見える化推進など）Spectrum JAPANには活動に賛同するアライとして現在約900名の社員が参加しています。

GSKグループ日本法人、「work with Pride2022」にて4年連続でPRIDE指標の最高ランク「ゴールド」を獲得。GSKグループの日本法人（以下GSK）、グラクソ・スミスクライン株式会社、ヴィーブヘルスケア株式会社は、職場におけるLGBTQ+に関する取組みの評価指標であるPRIDE指標の最高ランク「ゴールド」を獲得しました。「ゴールド」を獲得するのは2019年より4年連続となります。

## LGBTQ+などの性的マイノリティに関する GSK の取り組み例

- 育児や介護のための休職や慶弔見舞金の受け取りなどについて、事実婚や同性婚を日本における法律婚と同等に扱うパートナーシップ制度
- LGBTQ+をはじめ、多様な背景をもつ社員の働きやすさを追求したオフィス設計
- 多様性の重要性について学ぶ e-Learning 研修の継続提供（経営層を含む全社員の受講を必須とする）
- Tokyo Rainbow Pride などへの出展や参加を通じた LGBTQ+に対する理解促進と HIV の疾患啓発活動

\*1 アライ：LGBTQ+を理解し、積極的に支援する人

\*2 SOGIハラ：性的指向（Sexual Orientation・好きになる相手の性）や性自認（Gender Identity・心の性）に関するバイアスによるハラスメント